

令和8年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①学校の教育課程全体で問題解決能力を育み、持続可能な社会の担い手を育成する。 ②「総合的な探究の時間」の研究開発等をとおして、次代に求められる資質・能力・態度を育成する。	①問題解決能力育成の実現に向けた、組織的な授業改善と探究的な学びを实践する。 ②指定校事業の研究や実践を授業改善に活用し、「総合的な探究の時間」を中心に課題解決力を育成する。	①全ての科目で思考力・判断力・表現力の育成を図る授業を展開する。探究活動に効果的な1人1台端末や拡大電子黒板の有効活用を共有し、探究の学びの充実を図る。 ②探究のプロセスの視点を取り入れた授業を展開し、課題解決に有効な取組や深い学びにつながる取組を一丸となって研究し、情報共有を図る。	①課題の発見と解決に向けて主体的に考えたり、発表しあうなどの協働的な学習活動を行うことによって、思考力・判断力・表現力を高めることができたか。 (魅力と特色ある県立高校づくりについてのアンケート) ②授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができたか。 (生徒による授業評価)					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	①学習活動、学校行事、部活動等の活動を通して、自己肯定感と行動力の高い、自主自立の力のある人材を育成する。 ②一人ひとりが豊かな人生を切り拓くために、それぞれの生き方や人としての在り方を学ぶ教育活動を推進する。	①よりいっそう活気に満ち溢れた学校行事を目指すなかで、学びや過程を大切にし、生徒の充実した学習機会を提供する。 ②人としての「在り方」「生き方」を考えさせる指導を通して、自他を尊重し、人として備えるべき資質を身に付けさせる。 ・教育相談体制の充実を図り、実践を重ねる。	①生徒会本部や委員会等の生徒が中心となり、限られた環境の中で生徒一人ひとりが主体的に関わることのできる行事の在り方を検討し、協力して実施することで協同的な姿勢を学ぶ機会とする。 ②遅刻指導等の日常的な指導を徹底し、道徳観や規範意識を高める。 ・人権研修等を通じ、自尊感情を育み、また多様性を認める意識を醸成する。 ・面談、かながわ子どもサポートドックを通して、多様化する生徒の困り感に組織的に対応する。	①生徒主体の生徒会行事を企画・運営することができたか。(各行事後のアンケート) ②遅刻指導対象者を減らすことができたか。 ・道徳観や規範意識を高めることができたか。(人権講話後アンケート) ・面談、かながわ子どもサポートドックを適切に実施し、組織的に対応できたか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	①主体的に自分の将来像を描き出し、社会的役割を果たそうとする姿勢の確立を支援する。 ②一人ひとりの進路実現を支え切る指導と支援の体制構築と効果的な実践を図る。	①自分自身の職業観や勤労観をもとに、卒業後のイメージを明確にさせるとともに、進路実現に向けた支援体制を構築する ②進路指導の観点から求められる学習指導の在り方とキャリア形成の観点から生き方を追求する。	①社会の一員として働くことの意義に気付かせ、カリキュラム・マネジメントの視点から、本校の育てたい人物像として求められる人間力を養うキャリア支援（説明会等）を策定し、将来の選択をしっかりと判断できるようにLHR等を活用し生徒に伝えていく。 ②進路実現に向け、入試対応や学力の定着に向けて、各教科と連携し必要な学習内容を研究し、各教科での実践につなげ、模擬試験等の活用で、文理選択の決定や進路実現に向け自分自身の現状把握と課題確認により今後の取組を模索する。	①本校の育てたい人物に求められる人間力を養うキャリア支援（説明会等）を策定し、定期的に生徒に伝えることができたか。 ②生徒の理解度や習熟度を課題、模擬試験等で把握し授業での実践および生徒個々への対応ができたか。					
4	地域等との協働	①地域資源を活用した教育活動を行い、社会の一員としての資質や意識の向上をめざして、多様な人たちとの係わりの中から生き方を学ぶ機会を拡充する。 ②ホームページ等による教育活動、教育成果の発信を行い、広報活動の充実を図る。	①学校や地域等との連携・協働をいっそう推進し、教育活動の充実を図る。 ②広報活動の内容としての地域等との連携・協働の方法等を検討し、これらのいっそうの推進を図る。	①目標達成のための新たな地域等の連携・協働の方法を模索し、連携可能な事業等を拡充し、教育活動の充実を図る。 ②ホームページの情報の取捨選択を行い、学校行事の様子や、部活動の実績を定期的・確実に掲載する。	①社会の一員としての資質や意識の向上を視野に入れた生き方を学ぶ機会の拡充ができたか。 新たな地域等の連携・協働の方法を模索し、実践できたか。 ②学校説明会等のアンケートをもとに、求められる情報をホームページに反映できたか。					
5	学校管理 学校運営	①すべての人が学び活躍して、成長を続けられる学校づくりを推進する。 ②将来にわたって、社会的な役割と責任を果たすことができる持続可能な学校づくりに取り組む。	①学び成長し続けられるよう、生徒・職員の意識向上を図るとともに、生徒の学習活動における安全面の向上、また施設の環境整備と安全対策に努める。 ②持続可能な学校に必要な、職員の心身両面の健康維持や不祥事防止のために、働き方改革の指針改定を踏まえた取組を進めるとともに、不祥事防止に努める。	①人権研修などを通じ、生徒・職員の意識向上を継続する。 ・生徒の主体的活動による校内清掃・校内美化に努めるとともに、校内の危険箇所の修繕などを積極的に押し進める。 ②働きやすさと働きがいの両立に向けて、風通しの良い職場づくりや業務分担・内容の見直しを継続する。 ・不祥事防止研修等により職員の資質向上に努める。	①意識向上に資する研修を実施することができたか。 ・生徒主体の環境整備体制を整え、校内美化に対する意識や取組が向上したか。 ・危険箇所の修繕・及び安全面に配慮して施設整備を押し進められたか ②職員の時間外在校時間が減少したか。 ・ストレスチェックで高ストレス者の割合が10%未満であったか。 ・職員の資質向上につながる研修等を実施できたか。					